



■子会社の状況

■西中国信用金庫グループの主要な事業の内容

西中国信用金庫グループは、当金庫、子会社1社で構成され、信用金庫業務を中心に、現金輸送及び文書等の集配送業務、事務の代行業務、労働者派遣事業などの金融サービスを提供しております。

■子会社の状況

名	称	株式会社にしんビジネス								
所	在	地	山口県下関市豊前田町3丁目1番14号							
資	本	金	10百万円							
事	業	の	内	容	現金輸送及び文書等の集配送業務、事務の代行業務、労働者派遣事業					
設	立	年	月	日	平成4年8月21日					
当	金	庫	の	議	決	権	比	率	100%	
子	会	社	等	の	議	決	権	比	率	—

■業績の概況

わが国経済は、米国に端を発した金融不安が実態経済に波及して、上場企業の倒産や赤字企業の続出、雇用情勢の悪化などかつてない厳しい状況でありました。

このような経済環境のなか、当金庫グループは役職員一丸となって経営基盤と財務体質の強化に努め、店舗の統廃合と店外ATMを含む店舗機能の見直しを実施するとともに、子会社機能の有効活用を進めてまいりました結果、当連結会計年度の業績は次のとおりとなりました。

■主要勘定

預金は、地域経済の急激な悪化による定期預金の取り崩しや個人年金・終身保険等の預かり資産へのシフトにより、期中61億円減少して期末残高は5,014億円となりました。

貸出金は、資金需要が低調に推移するとともに、貸出金償却等による不良債権のオフバランス化により、期中46億円減少して期末残高は2,651億円となりました。

なお、総資産については、預金の減少と保有有価証券の価格下落により、期中91億円減少して5,314億円となりました。

■損益

子会社は当金庫の従属業務会社であり、修正消去仕訳により連結経常収益113億14百万円、連結経常費用121億53百万円となりました。

この結果、連結上の経常損益は前期比18億91百万円改善して8億39百万円の損失となりました。

また、当期純損益については、前期比30億3百万円改善して1億34百万円の利益となりました。